

泉佐野市外部評価委員会質問票

章	第1章 市民と協働し、すべてのひとが輝くまちづくり（自律・協働）
節	第6節 参画と協働
施策	コミュニティ活動の支援
質 問 内 容	
I 成果 指標 の 進 捗 状 況	<p>① 95%という達成率をどう評価しているのか。</p> <p>② 目標未達成の原因をどう分析しているか。（既加入者の脱会によるものか、新規転入者の未加入によるものか。）また、その対策は。</p> <p>③ 目標達成のためにどういった努力、取り組みをしているのか。転入者（集合住宅や宅地開発）に対する加入促進や、町会組織の近代化、民主化、会計の明瞭化、運営の活性化といった点はどうか。</p> <p>④ 目標達成のための行動が見えない。会館の増改築助成は、なんら加入率の向上に寄与しない。</p>

泉佐野市外部評価委員会質問票

Ⅱ 成果指標の妥当性、 目標値の設定	<p>①加入率 65%強という数字は都市部では比較的高いものであると考えられる。加入率は今後も自然減が続くであろう。住民サービス等行政施策の推進の上で、どの程度の数値をレッドゾーンに想定しているのか？ 現状維持を目標値とすることは、合理的根拠と言えるのか、再検討願いたい。</p> <p>②成果指標の妥当性として、新たな指標の追加が必要であると記述されているが、具体的な方針はあるのか。テーマ型コミュニティの育成に対してどのように考えているのか。</p> <p>③目標値 70%の妥当性はどのようなのでしょうか？</p>
-----------------------	--

泉佐野市外部評価委員会質問票

Ⅲ 内容 その 他	<p>① 順調な下降ラインを描いているにもかかわらず無策に等しい。活力ある、自主的な、など表現される視点からだけではなく、犯罪率の低下や美化環境維持等、具体的、多面的な指針が必要ではないか。</p> <p>② 市民の自主的なコミュニティ活動を活性化させる手段として、町会振興事業だけで対応可能と考えているのか。特に、単身世帯や若年世帯の大幅な増加に対応した対策として、考えている方向性はあるのか。</p> <p>③ 3、妥当性 のところ適正なサービス量 とは どのくらいを適正と考えているのでしょうか？具体的に聞いてみたいと思います。</p> <p>④ 事業予算の削減の中、町会との連携と住民とのコミュニティの方策（例 制約された予算の中でのコミュニティの実現化） 魅力ある町会の在り方等、中味の充実の必要性があると思う。 二次評価の所見の記載があれば、なお良いと考えます。</p> <p>⑤ 事務事業の謝金の交付は必要か。また、金額は適正か。用途を確認し交付の是非や金額の妥当性を検証していただきたい。事務事業の効果ランク。達成度100%＝効果A？改善の余地あり＝A？効率性指標、1件当たりの事業費の算出根拠は。 今後の方向として「引き続き目標達成に努める」だけでは言葉足らずでは。</p>
--------------------	--